



## 猫

この車庫に一泊せしかシャッターを開けた瞬間鴉飛び立つ  
音立てて風呂の湯を吸う猫の顔満足そうな細い目をして  
読書する手に猫の手が邪魔をする奇妙な深夜の人間と猫  
純培養の如くに育ちしこの猫は二人の人間のみしか知らず  
どの歌も老いをソツとつぶやけり美しく老いる人になりたい

旭川 稲積 文子

## 冬

天気図は西高東低冬型と予報官はこともなげに言う  
現実はおどろかむ手足さすりつつ北海道とはこんなもんさ  
冷え込みはこの冬一番の報道に思わず感謝このストーブに  
吹雪の日プロコフイエフの曲を聴きシベリアの地に想いを馳せる  
窓外に白魔の叫びを聞きながら北海道の家を楽しむ

江別 三宅 浩次

## 大通公園懐旧

控訴院附近に臨む逍遙地岩村長官像建ちいし記憶  
市議會で逍遙地の名撤去され條例で公園と変り七十年  
古き所在確と憶えず兄の乗る自転より仰ぎし黒田長官の像  
戦前は無かりし記憶開拓使お傭い外人ケプロンの像  
記憶持つ人は少なし三丁目屯田兵司令官永山の像

札幌 古屋 統

## 彼岸にて

叙勲受け本願寺より戴きし数珠を携へお寺に向ふ  
中日と大安重なり晴れ渡る家族揃ひてお詣りの朝  
訃報受け涙ぐましく庭に立ち「都ぞ弥生」声あげて歌ふ  
この秋の早き紅葉愛でおしに四十年振りの初雪来たる  
日ハムにコンサドレも優勝す北の大地に喜びくるる

美唄 吉村 誠治

## シソ

鉢植えのシソの葉摘みて ソウメンのつゆに加へし半ドンの昼  
スマイルと握手交はしつ このごろはスリーブも少しは口あけてをり  
書初めへ希望を込めし手習ひを 意識低下の今日掲出す  
向上が見らるとの評年賀状 我が投稿歌読み継ぐ人の  
農園にシカ来訪と年賀状 害獣愛づる心根豊か

札幌 浜島 泉

## 末日

杞の国の人が憂いしそのままに空墜ちて来ぬ末世とぞ知る  
この世には確かなものは何一つないこと分かった、あの日を境に  
タブー棄て自由となりし人々につきつけられた負債の数々  
人々のおごりのツケが来た時代、混迷渦巻くバベルの塔は  
パンドラが開きし筐の隅で鳴く希望という蟲、守り育てよ

釧路 兎玉 昌彦